

N 集落法人 ews22

発行 広島県集落法人連絡協議会事務局 〒730-0051 広島市中区大手町4丁目2番16号 Tel(082)543-6011 Email syuuraku@kosya.org

県域ニュース

米トレーサビリティ制度はじまる ～平成22年10月1日より米取引等の記録の作成・保存義務が発生～

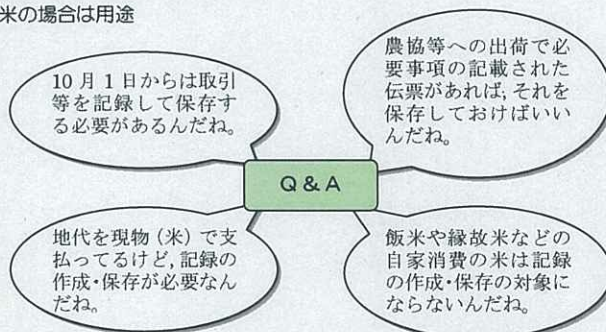
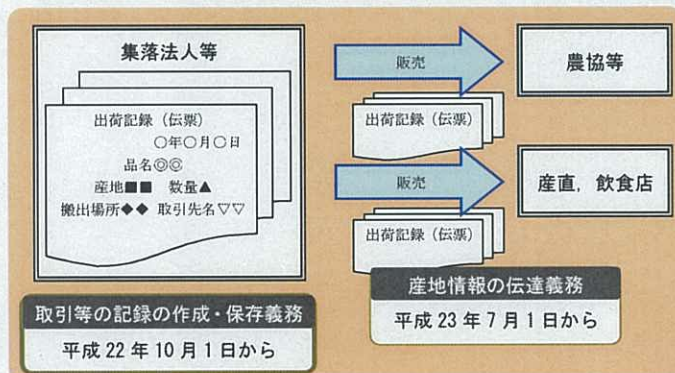
平成22年10月1日より、米、米加工品（注1）を、出荷、販売、購入、提供等した場合、取引の記録を行い、保存（注2）することが必要になります。（取引等の記録の作成・保存義務）

この法律は、「米穀等の取引に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律」といい①取引等の記録の作成・保存義務と②取引に伴う産地情報の伝達義務の二つに大別され、平成22年10月1日から①取引等の記録の作成・保存の義務が発生します。②取引に伴う産地情報の伝達は、平成23年7月1日から施行されます。

【注1：対象となる米・米加工品】 米穀（種もみ、玄米、精米、砕米）、米粉や米こうじ等の中間材料、米飯類、もち、だんご、米菓、清酒など。

【注2：保存方法等】 伝票等と同様の内容を記録した帳簿・電子データを原則3年間保存する必要があります。

【記録事項】 ①品名②産地③数量④年月日⑤取引先⑥搬入の場所⑦用途限定米の場合は用途



お問い合わせ先 広島県農業技術課 082-513-3585
広島農政事務所消費流通課 082-228-9552

支部ボックス

芸北

東広島

尾三

福山

三次

庄原

その他

BSCの取り組み ～（農）ユートピアかみなか（大和地域集落法人連絡協議会）での取り組み～

本年度、（農）ユートピアかみなか（代表 中井一男）では、集落法人版BSC（バランス・スコアカード：ピーエスシーと呼びます）手法を取り入れた経営戦略策定活動を、広島県立農業技術大学卒業生の若者や経理事務担当の女性を含む検討メンバー14名で実施しました。

（農）ユートピアかみなかは、「かみなか地域は、専業農家として独立した若者が、集落法人と連携し地域農業を担っていく」ことを将来目標として、かみなか地区外出身の若者を現在3名雇用しています。

本来BSCでは、検討メンバーで合意形成を図りながら経営戦略を策定しますが、（農）ユートピアかみなかでは、経営戦略策定の中で、法人の運営体制の改善まで踏み込んで検討した点が大きな特徴となりました。

非農家出身の若者を専業農家に育てる役割を法人が担うことを目標とし、雇用を受け入れたのですから、「若者は単なるオペレーターではなく経営の中核となり、また法人は、労働サポート等補助トレーナー役として雇用責任（生活補償）を担う」という、「集落ぐるみ型から担い手型」へと運営体制を変革することの合意形成を図りました。

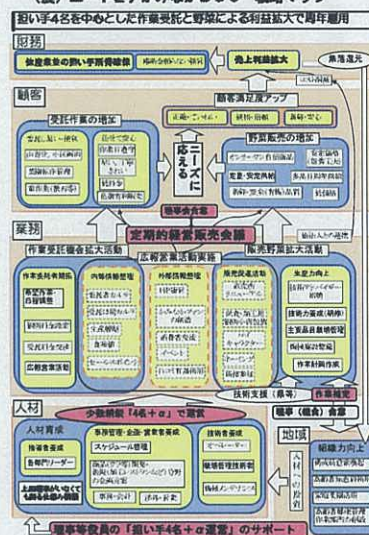
法人が高度化を図っていく場合は、（農）ユートピアかみなかの事例のように、実際の作業を担う者がどのように営農し、また個人として生活発展していくのか、「人材」の視点を中心に経営戦略を構築していく

ことが、法人経営の発展にとっていかに重要であるか、改めて確認されました。



BSC中は真剣で賑やかでした

（農）ユートピアかみなかBSC 戦略マップ



上 この取り組みで作成された（農）ユートピアかみなかの事業計画の基礎となる経営戦略マップ

【集落法人版BSC (Balanced Scorecard, バランス・スコアカード) とは】

もともとBSCはアメリカの経営コンサルタントらによって発表された「業績評価システム」で、多くの大企業がこれを採用しています。これを広島県の農業技術センターで研究の結果、集落法人に適用可能なBSCに改善されたものが、「集落法人版BSC」です。

BSCでは、法人の目指す先（経営戦略）を定め、そこまでの最良の道を決定します。その道は財務、地域、業務、顧客、人材といった5つの角度からバランスよく話し合います。



集落法人で 楽しい農業

豊かな 材で築く 地域の未来